

第40回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会  
災害対策委員会企画 災害対策の歩み～東日本大震災からの12年～

# ストーマ用品セーフティネット連絡会の活動

Ostomy Appliance Safety net group (OAS)

2023年2月24日  
ストーマ用品セーフティネット連絡会

# Contents

1. ストーマ用品セーフティネット連絡会(OAS)の概要
2. 日本ストーマ連絡協議会
3. 災害時対応の手引き
4. 東日本大震災時の支援活動(2011年)
5. OAS無償提供実施履歴
6. 熊本地震災害時での初の試み(2016年)
7. ストーマ用品の備蓄

# ストーマ用品セーフティーネット連絡会 (OAS) の概要

- 1995年、国内で製造・販売しているストーマ用品メーカーにより「日本ストーマ用品協会」が、ストーマリハビリテーション事業への支援を目的として発足。
- 「日本ストーマ用品協会」の活動は、主に下記の3つの機能を保有。
  - 1, ストーマ関連団体の運営を支援する助成支援
  - 2, 関連団体の教育活動の連絡取り纏めの労務支援
  - 3, 有事の際独自の手順でのストーマ装具流通支援
- 2015年、学会・研究会・講習会の拡充により日本のストーマリハビリテーションの発展、WOCナース2000人体制等鑑み、1, 2, に関する支援機能は一応の役目を果たしたものと判断し協会を解散。
- 同年、3, の有事の際の支援機能のみ特化し、「ストーマ用品セーフティーネット連絡会 (OAS)」を結成。
- OASの会員会社は現在7社で構成し、独自に製作した「災害時対応の手引き」に沿って、「日本ストーマ連絡協議会」と協働で災害支援を実施。

- ① アルケア株式会社
2. イーキンジャパン株式会社
- ③ コロプラスト株式会社
- ④ コンバテックジャパン株式会社
5. ソルブ株式会社
6. ビー・ブラウンエースクラップ株式会社
- ⑦ 株式会社ホリスター (ホリスター・ダンサク)

○4社にて、1年毎に当番幹事と副当番幹事が入れ替わる体制で運営

	当番幹事会社	副当番幹事会社
2022年度	アルケア社	コンバテック社
2023年度	コンバテック社	ホリスター社
2024年度	ホリスター社	コロプラスト社
2025年度	コロプラスト社	アルケア社

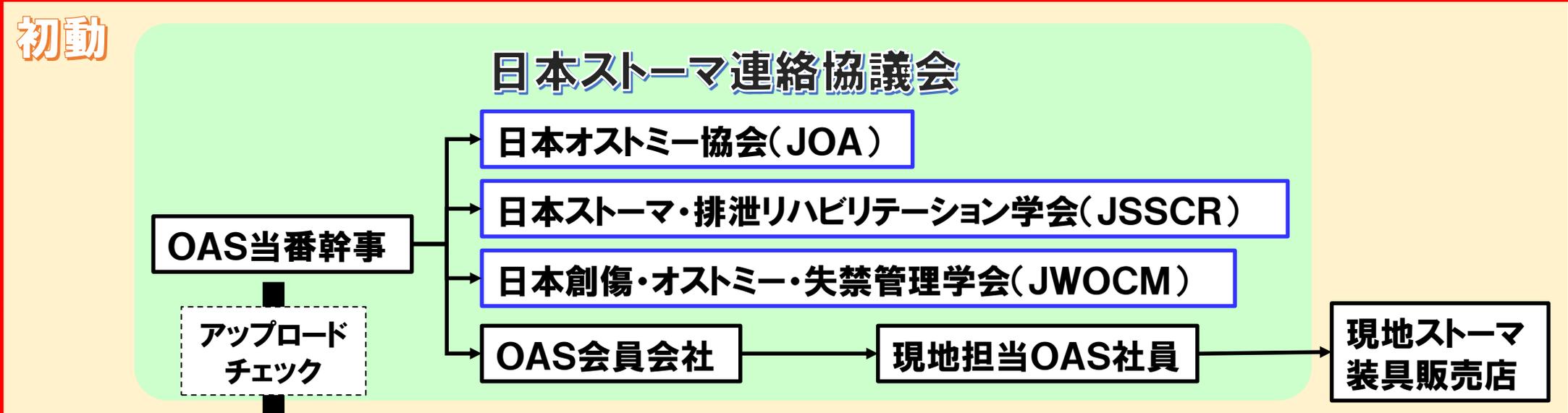
※以降この順番の繰り返し

# ストーマ用品セーフティネット連絡会 (OAS) の概要



災害救助法 検索

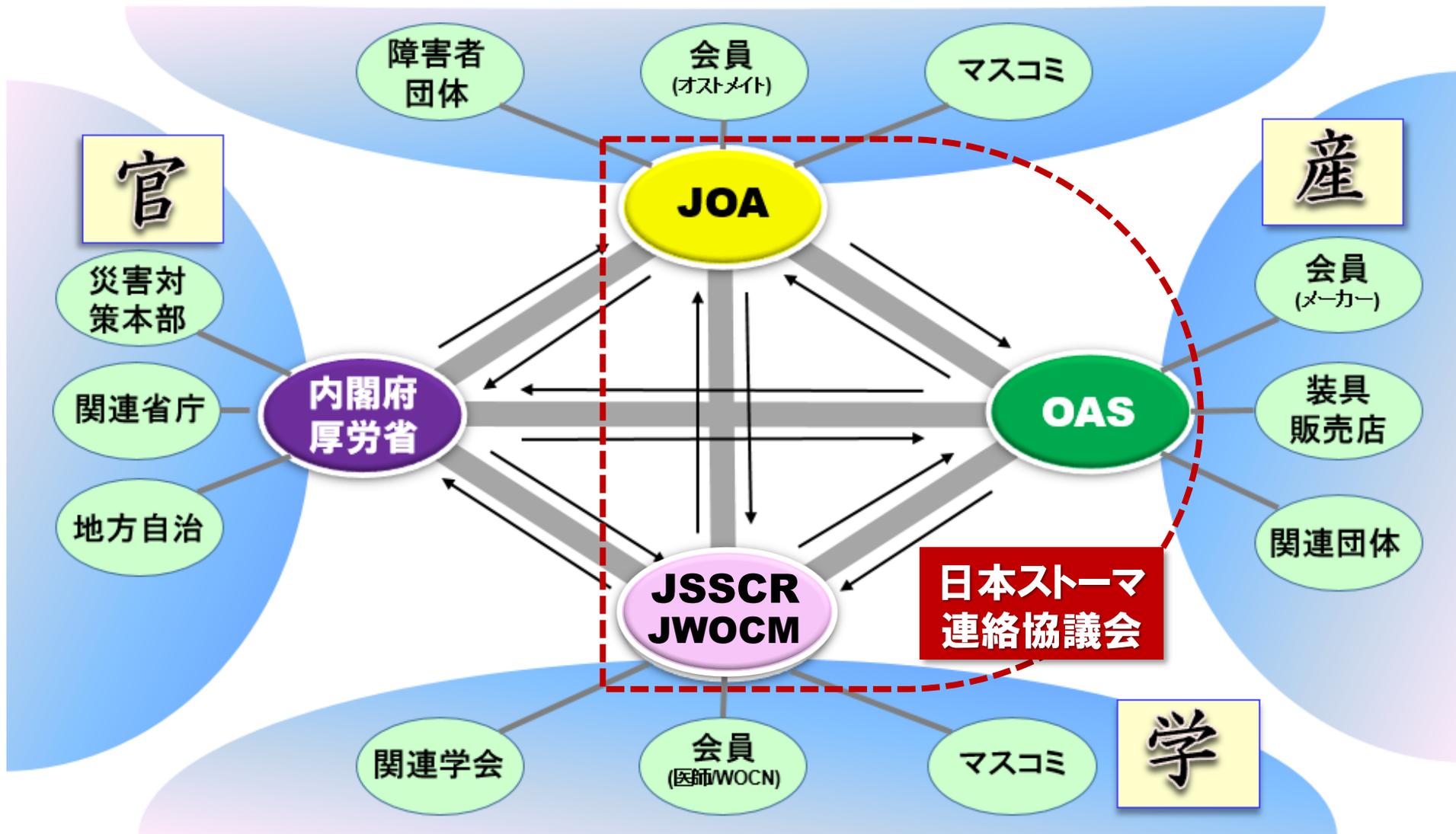
- 組織・予
- お役立ち情報
- 内閣府ホーム
- 災害救助法
- 適用状況



- 令和5年1月24日から的大雪による災害にかかる災害救助法の適用について (PDF形式: 424.2KB)
- 令和4年山形県鶴岡市の土砂崩れにかかる災害救助法の適用について (PDF形式: 375.3KB)
- 令和4年12月22日から的大雪による災害にかかる災害救助法の適用について【第2報】 (PDF形式: 411.0KB)
- 令和4年12月22日から的大雪による災害にかかる災害救助法の適用について (PDF形式: 380.3KB)
- 令和4年12月17日から的大雪による災害にかかる災害救助法の適用について【第3報】 (PDF形式: 405.0KB)
- 令和4年12月17日から的大雪による災害にかかる災害救助法の適用について【第2報】 (PDF形式: 425.6KB)

# 日本ストーマ連絡協議会

- 患者団体・学術団体・装具メーカー団体の共通のテーマは「オストメイトのQOL向上」
- 2005年穴澤貞夫先生発起により個の力を連携させさらなる強化体制を構築すべく発足
- 2019年JWOOCM加入にて現在4団体で構成、発足当初より年3回の会合を継続中





学会について

学術情報

学会誌・投稿査読/  
研究

委員会活動

入会・退会・マイペ  
ージ

ストーマ認定  
について

災害対策

## 災害対策

ホーム > 災害対策 > 日本ストーマ連絡協議会議事録

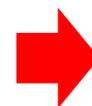
### 日本ストーマ連絡協議会議事録

- 第52回日本ストーマ連絡協議会議事録
- 第51回日本ストーマ連絡協議会議事録
- 第50回日本ストーマ連絡協議会議事録
- 第49回日本ストーマ連絡協議会議事録
- 第48回日本ストーマ連絡協議会議事録

最新の会合の議事録が  
アップデートされています

### 災害対策

- > JSSCR災害対策委員会の災害支援について
- > 地域の災害支援と災害対策活動（パワーポイント資料）
- > ストーマ用品セーフティーネット連絡会災害時対応の手引き（PDF版）



# 災害時対応の手引き

ストーマ用品セーフティーネット連絡会

災害時対応の手引き

(2015年4月1日制定)

ストーマ用品セーフティーネット連絡会

Ostomy Appliance Safety net group (OAS)

会員: アルケア株式会社  
イーキンジャパン株式会社  
コロプラスト株式会社  
コンパテック ジャパン株式会社  
ソルブ株式会社  
ビー・ブラウンエースクラブ株式会社  
株式会社ホリスター(ホリスター・ダンサック)

(五十音順)

2021年12月1日 現在

2021年12月1日再々版し**全国ストーマ装具販売店381社**  
に**2665冊**配布し販売店スタッフへの周知徹底依頼を実施

## <冒頭>

当会は、「大規模災害における応急救助の指針についての一部改正(平成19年6月厚労省社会/援護局総務課長発通知)」と「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」(平成25年8月内閣府発行)に基づき、自治体がストーマ用品の備蓄・確保・提供を行うものと認識しております。しかしながら過去の災害時の経験からストーマ用品の搬送・提供の優先順位が低くなることも予想されます。そのような場合に、毎日欠かせないストーマ用品を販売している**ストーマ用品メーカーの社会的責任(CSR)**として、ストーマ保有者に早期の流通確保を図る努力を致します。但し、当会が行う支援活動については、いかなる行政からも補償されるものではありません。

災害支援に係る費用はすべてメーカー負担で行っております

# 災害時対応の手引き

## 1. 緊急時ストーマ用品無料提供

緊急時(災害発生から約1ヶ月間)において、ストーマ用品を無料提供致します。

## 2. 無料提供対象メーカー・品目

無料提供するのは、ストーマ用品セーフティネット連絡会会員が販売しているストーマ用品全般です。ただし、在庫状況によっては提供できない場合もあります。

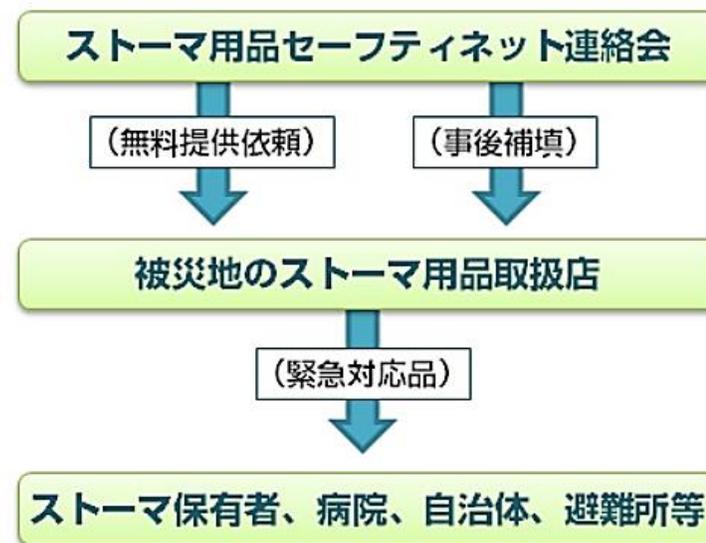
## 3. ストーマ用品提供対象者

災害救助法適用の市町村内被災ストーマ保有者で、家屋の倒壊等によりストーマ用品の持出しや入手が困難なストーマ保有者、並びに入手が困難な避難所、病院等の施設等。

## 4. ストーマ用品の受け取り方法

当会としましては、原則として被災地内のストーマ用品取扱店に依頼し、在庫の中からできうる限りのストーマ用品を対象となるストーマ保有者や施設等へ提供していただきます。

個人情報保護法により、何処の誰が何の装具を使用しているかは、顧客にストーマ装具を販売している販売店のみぞ知る情報になります



# 東日本大震災時の支援活動(2011年)

3/11 (金)	2:46pm地震発生／3pm:各会員が社員の安否、被災地状況確認／7pm:会員へ支援通知、協力要請、JOAへ支援開始連絡／11pm:JSSCRへ支援開始連絡(以後逐次)
3/12 (土)	被災地状況確認、装具受取可能場所確認、支援活動内容・搬送方法の検討 6pm:会員へ状況連絡／9pm:宅急便停止
3/13 (日)	9am:JOAへ状況連絡、JOAへ装具受取可能場所連絡(第1報)、搬送可能ルート調査(警察署、大使館等) 2pm:JOAへ装具受取場所連絡(第2報、以後逐次)／6pm:JWOCMへ状況連絡(以後逐次)／9pm:会員連絡
3/14 (月)	9am:ブーケの会への状況連絡、緊急通行車両確認標章手配(会社申請書、岩手県要請書、JOA要請書) チャータートラック手配、搬送先(ストーマ装具販売店)へ荷受可否確認 3pm:会員へ緊急搬送連絡、協力依頼／4pm:JOAへ緊急搬送決定連絡 搬送装具の選択、荷造り／6pm:JSSCRへ搬送予定連絡
3/15 (火)	5pm:緊急搬送チャータートラック出発／6pm:会員/JOAへ出発連絡(以後逐次) 7pm:JSSCRへ出発連絡(以後逐次)／10pm:チャータートラック郡山(ウエルカムサポート)着
3/16 (水)	1am:チャータートラック仙台(桜井薬局・ケア工房・ウエルカムサポート)着 8am:チャータートラック盛岡(ケアテック)着 ★2週間使用換算で合計3,500名分を配送
3/17 (木)	11am:JOAへ搬送量連絡 ※被災地外でも無償提供を適用 12am:JSSCRへ搬送品目・搬送量連絡
3/18 (金)	5pm:会員へ第2弾24日搬送決定連絡 ⇒3月24～25日:第2弾を郡山、仙台、盛岡へ搬送(★5,500名分配送) ⇒総合計9,000名分(3千万円)配送 ※3県のストーマ保有者は2008年推定で8,000名

## 東日本大震災時の支援活動(2011年)

### 早期支援要因

災害時対応の手順稼働

日本ストーマ用品協会制定「災害時対策マニュアル」(OAS災害時対応の手引きの前身)に基づき、直ちに装具搬送ルートの検討から始める事ができた。

現地との密な連絡網確保

支援拠点となる郡山、仙台、盛岡も相当被災したが、幸いにも会員の社員は無事であり、**現地との連絡が密に取れた。**

支援側の被害の少なさ

支援側のJOA/JSSCR/JWOCMの各本部には震災による大きな影響はなく、**直後からの情報交換と協力体制が可能であった。**

高速道路が通行可能

3拠点に向かう高速道が通行可能であり、**緊急通行車両確認標章も早期に入手できた。**

危険任務を担う人材確保

福島原発の最初の水素爆発の直後、危険な搬送を引き受けてくれた運転手と、同乗した社員がいた。

### 課題

配送先の限界

海側の避難所、病院まではライフライン不備のため搬送できず、現地のJOA支部、医療従事者、代理店などの交渉や決定に委ねることとなった。

ストーマの認知度の低さ

災害対策本部や避難所で必要性を理解してもらうのが難しいこともあった。また、避難所に装具が届いても**ストーマ保有者までは渡らない**ケースもあった。

災害時対応の手順の浸透不足

「災害時対策マニュアル」の周知に努めているつもりであったが、まだ伝わっていない販売店や医療従事者が多かった。

# OAS無償提供実施履歴

災害救助法（2015年～2022年）		無料提供実績		
災害名称	発令日(第1報)	人数	箱数	金額(¥)
平成27年9月関東・東北豪雨	2015年9月10日	19	46	205,500
平成28年熊本地震	2016年4月15日	16	25	170,120
平成28年新潟県糸魚川大規模火災	2016年12月22日	1	1	6,000
平成29年7月九州北部豪雨	2017年7月6日	1	3	12,680
平成30年大阪府北部地震	2018年6月18日	1	2	18,000
平成30年7月豪雨	2018年7月6日	33	40	267,890
平成30年胆振東部地震	2018年9月6日	1	1	5,500
令和元年8月の前線に伴う大雨による災害	2019年8月28日	2	2	35,200
令和元年台風第19号に伴う災害	2019年10月12日	37	72	400,030
令和2年度7/3からの大雨災害	2020年7月4日	46	74	319,890
令和3年静岡県熱海市における大雨災害	2021年7月3日	2	6	23,670
令和3年8月11日からの大雨による災害	2021年8月12日	2	3	22,050
令和4年8月3日からの大雨による災害	2022年8月3日	3	4	33,300
令和4年台風第15号	2022年9月24日	3	4	14,990
災害時支援発生	14件 計	167	283	1,534,820
災害時支援非発生	10件 計	0	0	0
	Total	167	283	1,534,820

ストーマ装具の無料提供は、ストーマ装具が“浸水”もしくは“流された”場合に発生

# 熊本地震災害時での初の試み(2016年)

## ストーマ用品汎用セット

種類	項目	入数	アルケア	コロプラスト	コンバテック	ホリスター	合計
消化管用ストーマ用品 平面セット	単品系平面型装具	5枚	34	34	35	35	138
	用手成形皮膚保護剤	3枚					
	粘着剥離剤	5枚					
	洗浄・清浄剤	5枚					
消化管用ストーマ用品 凸面セット	単品系凸面型装具	5枚	21	20	21	21	83
	用手成形皮膚保護剤	3枚					
	粘着剥離剤	5枚					
	洗浄・清浄剤	5枚					
尿路用ストーマ用品 平面セット	単品系平面型装具	5枚	8	8	7	7	30
	用手成形皮膚保護剤	3枚					
	粘着剥離剤	5枚					
	洗浄・清浄剤	5枚					
尿路用ストーマ用品 凸面セット	単品系凸面型装具	5枚	7	8	7	7	29
	用手成形皮膚保護剤	3枚					
	粘着剥離剤	5枚					
	洗浄・清浄剤	5枚					
合計:			70	70	70	70	280セット ※経費:約5百万円

● JSSCR協働にて、5枚1組とした汎用装具を支援物資としてストーマ装具販売店4店舗に設置

● JSSCRのHP上で受取場所のマップ情報掲載

● 熊本県内のテレビ・ラジオで情報提供

残念ながら活用には至らず。

その理由として...

- ① 水害の無い災害であったため、避難所から倒壊した家屋に装具を取りに帰れた
- ② 混乱の場で、あらたな取り組みの汎用セットの告知が伝わり辛い環境であった
- ③ ストーマ保有者独特の心理「現在使用している装具がベストな装具」が根強い



# ストーマ用品の備蓄

備蓄には下記2種類あり、過去より①が主流であったが、近年②の動きが増加傾向である。

①災害時におけるストーマ用品保管事業として、市区町村が個人の装具を預かる備蓄

②市区町村の公的予算でストーマ用品を購入し「ストーマ用品汎用セット」として備蓄(例:船橋市・印西市)

ストーマ装具を備蓄しています



市では、緊急時にストーマ装具を持ち出せないオストメイトの方のために、汎用性の高いストーマ装具等を各市立中学校に消化器系・尿路系各1セットずつ備蓄をしています。

## 備蓄品詳細

消化器系セット



尿路系セット



災害に備えた準備をお願いします

日頃から災害時を想定し、下記の対応をお願いします。

1. 自宅にある装具の個数を把握し、調整する。
2. 外出する際には、多めに装具を持っていく。

参考資料

市立中学校一覧

ストーマ装具備蓄先の市立中学校を確認できます。

市立小学校 55校  
市立中学校 27校  
特別支援学校 2校  
合計 84校

## 災害時に備えたストーマ装具の備蓄について

[2020年9月30日] ID:11557

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開



ストーマ装具を備蓄しています

市では、地震などの災害時にストーマ装具を自宅などから持ち出すことができなかったオストメイトのために、医療用物資が届くまでの緊急対応として、汎用性のある消化器系・尿路系のストーマ装具及び附属備品を備蓄しています。

備蓄品は、市役所本庁舎に保管し、災害時に必要とされる避難所へ供給いたします。

### 備蓄品一覧

品名	数量
ストーマ装具(消化器系)	100枚
ストーマ装具(尿路系)	100枚
コネクターチューブ	20本
ドレナージバッグ	20枚
アダプト剥離剤パック	200枚
アダプト皮膚保護シール スリム	200枚
リモイスクレンズ ハンディー5g	40パック
ストーマ用カーブハサミ	40丁

ストーマ 備蓄 検索